珈琲一喫すれば
心宮宛然たり
ミュスカ (729) 5205

紙面案内

一面 ニュース 11・22日米共同声明一周年 11・15補助金 選挙公約集会 文化部会
二面 相撲の改正から絶対的理事の長と同じあつ上級と指導
三面 既報「日本の悪魔」 芸術論争マルクス主義的視角 第一回 悲劇論 四面 安保条約運動の形成と崩壊 ④

1970
11月20日号
第694号
発行／毎月 20日 1部15円
〒共・年間150円振替東京76839

工業大学新聞

東京工業大学新聞部会新聞部■目黒区大岡山2−12−1■電話 (726) 1111・内線 (2392)

入管法国会再上程阻止へ
―11・22日米共同声明一周年
明治公園に二万結集

【日米共同声明一年後に日韓、金開発長官が今「戦」、金開会式】11・22集会は今年の総評の最重要課題となった。「入管法粉砕」に向けた「大統」集会として百数万人の動員が計画されて、しかも日米共同声明一周年を迎えて沖縄問題の過熱が「国際的」に関係されたこと、総評・日韓会談・安保闘争・沖縄闘争の三大全国集会が加盟されて、集会は東京、隊の主力の安保闘争であったほかに、統一戦線の過程が「国際的」に有機スケールアップの意義を持っている。

本年度は、総評・動労・全国金属・自治労・教組の五大産業別組合の共闘として、共同行動の組織化が行われた。

11・22集会は、総評・動労・全国金属・自治労・教組の五大産業別組合の共闘として、共同行動の組織化が行われた。

本年度は、日韓・沖縄・安保・入管法の四大闘争を通じて、「国際的」に関係されていることが、「国際的」に関係されていることが、「国際的」に関係されていることが

相対的地平より絶対的抽象の眼と向いあう

己れを知らぬ近代主義者の退廃

佐藤が早大に問うたということは、「学友会」機関紙編集人・早稲田大学生新聞会会長が、「学友会」機関紙編集人・早稲田大学生新聞会会長の立場で、「佐藤のオルグ」と発言したことを指す。

プロレタリア中核派の学友の諸君は、「学友会」機関紙編集人・早稲田大学生新聞会会長が、「佐藤のオルグ」と発言したことを、「佐藤のオルグ」と言ったことを問題にしているのである

芸術活動論
―マルクス主義的視角

第三回

(七)

赤城　優

前回では、芸術活動の一般規程は、「自然の獲得」としての産業活動の基本構造において、たえず新たに再生産されてゆく「人間＝自然の生産関係の開示」、換言するなら、人間が自然に関係を取り結ぶ、そのつど人間的な生産関係の形成が必要であるとされてゆくことになるとして、「剰余価値の形成」が必要であるとされてゆくことになるとして、「剰余価値の形成」が必要であるとされてゆくことになるとして、「剰余価値の形成」

戦後学生運動の足跡・第二部
安保全学連の形成と崩壊

一九五八年 (4)

全学連の「大転換」
「自国帝国主義打倒へ」

しかし、意識の転換は容易なことではなかったのである。第四大会自治の活動家は、それを示唆した。「それは、それぞれ、学生運動に指導的役割を演じた人物の経歴からもうかがえる。この時期は「われわれの経験からいって、『自国帝国主義打倒』という綱領書がなければならない」(社会学部)とされていた。マルクス、レーニンのテキストが読まれるなど従来の「平和と民主主義」がかなった。七回大会までにあった自治会活動の方向は、「学生運動の発展は、自治会が活動しないから、それを発展させるためにも自治会活動を活発にしなければならない」(文学部)と、自治会の活性化が問題とされていた。特に、「われわれの実践は、徹底的な大衆的闘争を通じて、自己自治会活動を活発にしなければならない」(文学部)と、自治会の活性化が問題とされていた。特に、「われわれの実践は、徹底的な大衆的闘争を通じて、自己自治会活動を活発にしなければならない」(文学部)と、自治会の活性化が問題とされていた。

学生間での徹底的な討論や論争が必要であり、正しい理論の獲得によって運動の成功が期待されるとされていた。この時期は、八中東、九大会議、十大会議、十一大会議と、「下部学生運動の盛り上がりが見られ、「国民的一本化」の動きが見られ、「国民的一本化」の動きが見られ、「国民的一本化」の動き